

「我らの主に向かって」

(ピリピ2:11)

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はわれらの勝利

われらの主に向かって 新しい歌を歌おう

喜びの声をあげよ 主はたよれるお方

イエスは主(イエス) イエスは主(イエス)

この賛美もってほめたたえよう———

イエスは王(イエス) イエスは王(イエス)

この賛美もってほめたたえよう

55 イエスは愛で満たす

イエスは愛で満たす 聖霊で満たす

わたしの心の中を

イエスに今 すべてをゆだねて生きよう

主はわたしを満たされる

わが主イエス わたしを満たす

わが主イエス 愛をもって

新聖歌22番 「御神(みかみ)の愛をば」

- 1 御神(みかみ)の愛をば 歌うわれらの
むねはひらきたり 花のごとくに
御顔(みかお)の光に 迷いの霧(きり)も
うたがいの雲も 消えてあとなし
- 2 みつかい聖徒(せいと)ら 歌えみいつを
月 星 太陽 たたえよ神を
雪ふる高嶺(たかね)も 花咲きたにも
はやしも野原も さばくも海も

【次】

新聖歌22番 「御神(みかみ)の愛をば」

- 3 御神(みかみ)は 罪ある者をも愛し
御子なるイエスをば つかわしませり
赦しのみ恵み きよむる力(ちから)
ふでにも声にも のべ尽くしえず
- 4 御神(みかみ)はわれらの 父親なれば
御子なるイエスをば 「あにうえ」と呼ばん
よびとよ 親しみ 互いに助け
みむねのなる日を しのび待てかし

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌342番 「神の子なるイエス」

- 1 神の子なるイエス わが心に
すまわせたもう 妙(たえ)なるかな
* わがうちに主はいます くすしくもたえなり
わがうちにいます主は きたるべき王なり
- 2 かくも主はなやみ かくも愛し
主の花嫁と われをなしぬ * (くりかえし)
- 3 されど幾(いく)たびも 主を苦しめ
かしこき御旨(みむね) われは裂(さ)きぬ
* (くりかえし) 【次】

新聖歌342番 「神の子なるイエス」

4 すべて主は赦し 前のごとく
みむねに抱(いだ)き 愛したもう

* わがうちに主はいます くすしくもたえなり
わがうちにいます主は きたるべき王なり

5 イエスはわが持てる すべてなれば
とぼしきことも 弱きもなし

* (くりかえし)

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン